

「咸臨丸とサラキ岬に夢みる会」の主な歩み

～町民に支えられ、共に歩んだ18年間～

<p>2004年 (平成16年)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●咸臨丸とサラキ岬に夢みる会結成 初代会長:中山信男氏就任 ●会員数:117名で船出 ●学習会(講演会)講師:函館市史編纂室参事 紺野哲也氏 ●「咸臨丸まつり」企画・立案(町・観光協会と連携) ●チューリップフェア開催(以後毎年)
<p>2005年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●会員数:229名 ●公開講座:咸臨丸ビデオ学習 講師 小杉伸一氏 講師 知内町立郷土資料館学芸員 高橋豊彦氏 ●記念講演:講師 元函館市立博物館学芸員 千代 肇氏 ●「咸臨丸子孫の会」総会出席
<p>2006年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●新会長 久保義則氏就任 ●会員数:400名を越える ●咸臨丸終焉の碑建立 ●基調講演:講師 東京大学大学院教授 安達裕之氏 講師 日本海事史学会会員 小川一男氏 ●記念講演:講師 開陽丸友の会会長 石橋藤雄氏 ●公開講座:講師 塚本謙蔵氏 講師 殿様街道まちづくりリーダー 浅野和雄氏 ●咸臨丸モニュメント用に猿見田幸男氏より船寄贈(初代十和田丸救命艇) ●江差開陽丸友の会と交流 ※「イカリ」東京大学での放射性炭素年代分析室での結果、咸臨丸建造時代と判明。
<p>2007年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●救命艇、西村幸光氏により咸臨丸として蘇る ●入り口大看板、太陽北海道地域づくり財団の助成により完成 ●会員数:500名を越える ●イベントステージ舗装・電源整備 ●記念講演:講師 檜山支庁地域振興部主幹 郷 康則氏 ●横須賀咸臨丸フェスティバルに参加 <div style="text-align: center;">  </div> <p style="text-align: center;">この標識がサラキ岬の道標に!</p>